

報道関係各位

2012年10月23日

## 『証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定』 3回連続で『第1位』に！（通算4回目）

大東建託株式会社（東京都港区、社長：三鍋伊佐雄）は、このたび、『証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定』の建設・住宅・不動産部門において、『第1位』に選出されましたので、お知らせいたします。

### ■ 「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」制度とは

本制度は公益社団法人日本証券アナリスト協会ディスクロージャーが、企業情報開示の促進・向上を目的として毎年1回実施しており、今年で18回目になります。各業種の証券アナリストが企業のディスクロージャーに対する取り組みを評価し、優良企業を選定します。

### ■ 3回連続4回目の『第1位』獲得

当社は、建設・住宅・不動産部門において、日本証券アナリスト協会が東証一部上場株式時価総額を基準として選定した17社の中で『第1位』となりました。今回の受賞で3回連続4回目の第1位獲得になりました。

（建設・住宅・不動産部門については、平成23年度は評価を一時休止していましたが、平成24年度は建設部門の企業を7社減らし住宅設備企業を加えるなど、対象企業を見直して再開されました。）

平成24年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度
第1位	第1位	第1位	第2位	第3位	第1位

### ■ 評価概要

評価項目ごとの順位と評価概要は以下のとおりです。当社では、今後も公正かつタイムリーな情報開示に努め、株主や投資家から信頼される企業を目指してまいります。

#### 【評価項目ごとの順位と評価概要】

#### ① 経営陣のIR姿勢、IR部門の機能、IRの基本スタンス（1位）

経営トップが説明会に出席し実質的な討議に参加しているほか、取材への対応も積極的である点や、IR部門が十分かつ正確な情報を蓄積し有益な説明を行っており、同部門の機能が充実している点等が、極めて高い評価を受けました。

〈次ページへ続く〉

② 説明会、インタビュー、説明資料等における開示（1位）

短信および説明会資料等の数値や文言の理解を深めるような十分な説明を行っている点に加え、質疑応答が満足できる点が高く評価されました。さらに、説明資料の開示が詳細で充実している点や、四半期決算の内容の理解に必要な補足情報を十分に開示している点等においても高い評価を受けました。

③ フェア・ディスクロージャー（1位）

フェア・ディスクロージャーに対する取り組み姿勢等この分野全体について、高い評価を受けました。

④ コーポレート・ガバナンスに関連する情報の開示（1位）

具体的な株主還元策の数値目標を明示していることが評価されました。

⑤ 各業種の状況に即した自主的な情報開示（3位）

月次情報等期中の定量的データを十分開示していることが評価されました。

※ 詳細はこちらをご覧ください。

日本証券アナリスト協会ホームページ（日本証券アナリスト協会の許可を得て掲載しています。）

<http://www.saa.or.jp/disclosure/selection.html>



以上

<この件に関するお問い合わせ>  
大東建託株式会社・経営企画室  
TEL (03)6718-9068